

みかん



みかんの花（白）

ふるさと食材伊万里の日

伊万里市学校給食センター

みかん畑を見学に行ってきました！

今回は、東山代町の山口さんのみかん畑を見せていただきました。JA伊万里みかん部会には、63名の会員の方がいらっしゃるそうです。今年は、夏場の天候が良く、雨量が少なかったため、甘く味のよいみかんができたそうです。



みかんの木の上に、たくさんの黒いひもがありますね。これは、みかんの重みで枝が折れないように、ひもで支えるためです。

大変な作業ですが、みかん作りには欠かせません。

みかんの木の高さは2メートルほどでした。これは作業がしやすいように上へと伸びてくる枝は切って、横に広げて育てるそうです。

苗木を植えて5年目くらいから実が付き始め、約40年おいしいみかんが実るそうです。木の大きさや樹齢にもよりますが、1本の木から800個ほどとれるそうです。

おいしいみかんを作るために・・・

おいしいみかんを作るために、「マルチ栽培」をされています。

白いビニールシートをかけることで、水分量を調整します。

水分が少ないと、糖度が高い（あまい）みかんができますが、水分が少なすぎると木自体が枯れてしまったり、ほどよい酸味が出なかったりするため、みかんの木や葉の様子を見ながら水分量を調整します。この調整がとても難しいです。

また、害虫予防も大変ですが、イノシシやカラスの害も多いです。イノシシは、上手に皮をむいて食べますよ。電気の柵を設置したり、黄色のビニールをつるしてヒラヒラ動かしたりすることで防いでいます。

他にも、強風や台風を防ぐための「防風樹」をみかん畑の周りに植えています。強い風に吹かれると表面に傷がつき、品質が悪くなるのを防ぐためです。



JA伊万里みかん部会（約63名）←年々減少

指導員：中島勝博さん（左）生産者：山口正弘さん（東山代町脇野：右）

みかんの品種

10月頃

☆極早生：岩崎（いわさき）
日南（にちなん）
上野（うえの）

11月頃

☆早生：宮川（みやがわ）興津（おきつ）
☆中生：久能（くのう）

12月頃

☆普通温州：清水（しみず）大津（おおつ）青島（あおしま）

*こんなにたくさんの品種があるそうです！